

事例36

< 事例概要 >

過量投与（詳細不明）

ヒューマリンR注100単位 / mL（インスリンヒト）：糖尿病治療薬

- ・ 80 歳代、膵臓がん、2 型糖尿病
- ・ エルネオパNF2 号 1000 mL＋フロセミド 10 mg＋NaCl 2 g＋ヒューマリンR 6 単位を輸液ポンプで連日投与中。看護師 2 名で準備し、インスリン専用注射器で 6 単位を 混注、点滴を更新、投与速度は 42 mL / h とした。
- ・ 更新約 19 時間後、声かけに対し返答があったが、22 時間半後に意識レベルJCS 300 の状態を発見。血糖値 9 mg / dL のため、50 %ブドウ糖 40 mL を静脈内注射し、血糖値は 80 mg / dL以上となったが意識障害は遷延。投与から約 3 週間後に死亡。インスリンバイアル製剤の残量を確認したところ、使用した計算上の量より 0.32 mL少なかった。
- ・ 死因は、低血糖性脳症。死亡時画像診断（Ai）有、解剖有。